

まちづくり交付金 事後評価シート
大和川地区

平成20年12月

新潟県糸魚川市

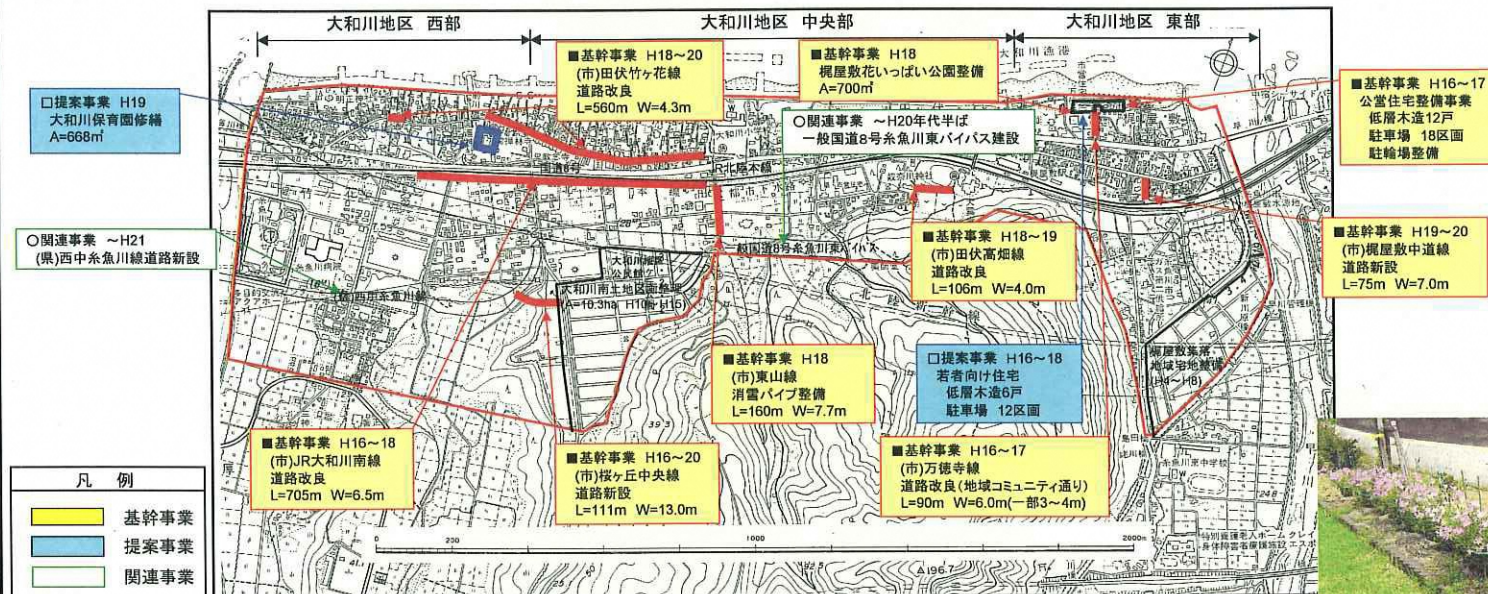
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	糸魚川市	地区名	大和川地区			面積	167ha				
交付期間	平成16年度～20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	904百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名											
		基幹事業	道路(市道桜ヶ丘中央線・市道JR大和川南線・市道万徳寺線)、公園(梶屋敷花いっぱい公園)、公営住宅等整備(梶屋敷団地)										
		提案事業	地域創造支援事業(若者向け住宅)										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	なし										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(大和川桜ヶ丘建築協定)			協定が順守されており、自主性に任せる方針としたため。			影響なし				
		新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道田伏竹ヶ花線・市道田伏高畑線・市道東山線・市道梶屋敷中道線)			道路改良、修繕により、子供からお年寄りまで安心、安全な道づくりを行うため。			影響なし			
	提案事業		地域創造支援事業(大和川保育園)			老朽化した園舎の耐震改築により、子供の保育環境を改善するため。			影響なし				
	交付期間の変更	当初	平成16年度～19年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	影響なし							
		変更	平成16年度～20年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	若年世帯率の増加	%	8	H16	10	H20	モニタリング	評価値		あり なし	公営住宅及び若年世帯用の住宅の整備により、若年世帯率の増加につながった。	
	指標2	居住者数の減少率の抑制	%	2	H16	0	H20		0	○	あり なし	公営住宅及び若年世帯用の住宅の整備により、居住者数の減少率の抑制につながった。	H21年4月
	指標3	アクセス時間の短縮	分	9	H15	5	H20		5	○	あり なし	北陸本線以南の道路網の整備により、糸魚川駅周辺へのアクセス時間の短縮につながった。	H22年3月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値				
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	・道路、住宅と公園の一体的な整備により、生活環境の改善と地域コミュニティ活動の促進の相乗効果につながっている。 ・道路側溝の改修により、地域住民の生活道路として安全な歩行環境がつけられている。 ・保育園の耐震改築により、安心して子育てのできる環境がつけられている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	新しく完成した公園での花いっぱい運動の広がり		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 地域住民による花いっぱい運動の更なる広がりを応援していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

大和川地区(新潟県糸魚川市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
美しく快適な住みよいまちづくり ・良好な居住環境の形成による人口の定着 ・子供からお年寄りまで誰もが快適に暮らせる生活環境の創出 ・優良住宅地から公共公益、文教、医療福祉施設及び北陸新幹線糸魚川駅へのアクセス道路の整備による利便性の向上	若年世帯率の増加	単位: %	8	H16	10	H20	10	H20
	居住者数の減少率の抑制	単位: %	2	H16	0	H20	0	H20
	アクセス時間の短縮	単位: 分	9	H15	5	H20	5	H20



まちの課題の変化	・公営住宅と若者向け住宅の型別供給により、幅広い年齢層の定住が促進された。 ・住宅基盤に加え、海辺の環境を利用したコミュニティ活動の場としての公園や地域コミュニティ通りの整備により、住みよい生活環境が生まれた。 ・東西連絡幹線道路の整備に合わせたアクセス道路の整備により、糸魚川駅周辺などへの交通利便性が向上した。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	子供からお年寄りまで安心、安全な道づくり ・幅広い年齢層が安心して暮らすため、通学路及び病院アクセス歩道を整備し、良好な教育環境及び地域医療環境をつくる。 ・老朽化した生活道路の側溝を整備し、安全な居住環境をつくる。 ・密集した住宅地に緊急車両が進入できる道路を整備し、地域の防災力を高める。 活発な地域コミュニティ活動による快適な生活環境の創出と魅力ある地域づくり ・地域住民による花いっぱい運動の活動の場を提供し、より快適な生活環境をつくる。 ・地域コミュニティ活動への参加の輪を広げ、地域の活性化につなげる。 災害時に備えた避難所機能の拡充 ・地域住民の安心、安全の確保のため、大和川小学校を大規模災害対策の拠点として避難所の機能を強化する。